



# 本当にあった怖い話 症例で学ぶ 呼吸・循環アセスメント50

講座コード R-22

～急変を防ぎ、離床を成功させる究極の評価～

開催日：2026年 2月28日(土) 10:00～16:10

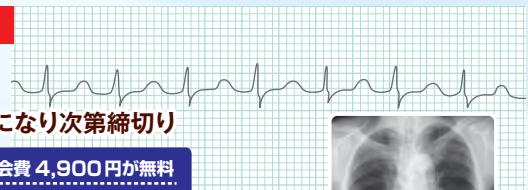
難易度  
★★★★☆

会 場：インターネット生ライブ中継 見逃し受講期間 2週間あり

講 師：曷川 元 先生（日本離床研究会 学術研究部）

対 象：看護師・PT・OT・ST（左記以外も受講可）※先着順：定員になり次第締切り

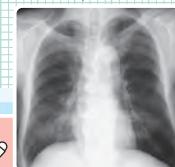
受講料：会員 9,800円 一般 12,800円（税込）

今、会員になると年会費4,900円が無料  
実質7,900円割引

急変・悪化したらどうしよう…



そんな不安を吹き飛ばすとっておきの手段とは？



1つひとつのパラメータの意味はなんとなくわかるけど、離床するとなると急変がコワくて…そんな悩みはありませんか？そんなあなたへの特効薬は、実際の症例で学ぶこと。厳選された50の症例で、現場と同じ状況のアセスメントを経験すれば、“活きた知識”が身につくので、不安が解消すること間違いなし！さあ、あなたもベテランが経験した“離床がうまくいかなかった症例”“急変寸前で気づいた症例”を学んで、アセスメント名人になってみませんか？



“教科書だけ”的知識を“活きた知識”にする!  
50の症例で学ぶアセスメント成功術！！



## Lesson 01 ここがチェックポイント! 呼吸・循環パラメータがこう変化したら危険だ!!

臨床でパラメータを読むためには、その変化について知るのが一番。  
すぐにドクターコールすべき異常か、ちょっと様子を見て良い異常か、すぐに判断できるセラピストを育成!  
やってみよう! こんな場合は異常?  
Head Upしたら収縮期血圧が130mmHgから100mmHgに低下!  
胸痛を伴ってSpO<sub>2</sub>88%に低下、呼吸音は正常  
人工呼吸器を装着したらPaCO<sub>2</sub>が50torrに!



このコマで取り上げるパラメータ  
血液データ／心電図／血液ガステータ／  
フィジカルアセスメント

## Lesson 02 こんな場合は離床してはいけない! 疾患別にみるデータ解釈のポイント

この患者さん、離床は許可されているけれど、こんなデータで大丈夫!?  
そんな悩みを解決するため、離床してはダメな場合をまとめて解説!  
これを知っていればビクビクしないで大丈夫!!



- 肺炎
- 誤嚥性肺炎
- 術後患者
- 心不全増悪
- COPD 急性増悪
- 心筋梗塞後
- 不整脈患者
- 脳血管疾患合併例
- ほか

## Lesson 03 こんな症例は急変する! 見逃してはならない急変の前兆と発見時の初期対応

急変は偶然起こるものではなく、必ず起こる前に前兆があります。  
「ここだけは！」というアセスメントポイントを徹底解説! もし急変した時の対応もバッチリ学習!!  
呼吸困難を訴えている!  
胸痛を訴えている!  
投薬で明らかに様子が変わった!

人工呼吸器装着中に間にかおかしい!  
意識レベルが低下した!  
体位変換したら呼吸がおかしい! ほか



※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

### 受講方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

### お問い合わせ・お申込先



臨床を元気に!  
日本離床学会

